

第3章 第11次計画に盛り込むべき事項に関する地方公共団体、関係団体 及び被害者団体等調査

本章では、第11次計画検討の参考とするために、都道府県の交通安全対策担当部局及び関係団体が同計画に盛り込むべきと考えている事項を調査した結果を取りまとめた。提出された意見については、関係省庁と共有し、対応方針を専門委員会議において示す。

第1項 調査概要

1.1 調査の対象

都道府県・政令指定都市の交通安全対策担当部局及び関係団体を対象として調査を実施した。

(1) 地方公共団体

都道府県交通安全対策担当部局に対し、調査票をメールにて送付し、都道府県下市区町村を含めて回答を得た（47都道府県（内、43都道府県から回答））。

(2) 交通安全に関わる業界等関係団体

交通安全に関わる業界等関係団体に対して、調査票を郵送し、回答を得た（111団体（内、50団体から回答））。また、一般財団法人交通安全普及協会からは、第2回検討会の場でヒアリングを実施した。

道路交通以外の鉄道、踏切道、海事及び航空の関係団体も含む。

(3) 被害者団体等

被害者団体等に対して、内閣府ホームページを通じた意見募集を行い、回答を得た。また、9団体から第2回検討会の場でヒアリングを実施した。

1.2 調査内容

調査票による調査については、以下の事項を質問した。

各団体等による、第10次計画期間中の交通安全に関する主な取組

今後2025年度までに、各団体等が重視する交通安全に関する主な取組

今後2025年度までに国に期待する主な交通事故対策

第2項 調査結果

本報告書では、「今後2025年度までに国に期待する主な交通事故対策」に着目し、主な結果を以下の通りとりまとめた。

2.1 回答主体別に見た主な意見

回答主体別に見た主な意見として、複数件の回答があった事項を中心に以下に取りまとめた。

(1) 都道府県

- | 保育園や幼稚園のお散歩コース、通学路を含めた子供達の交通事故防止のための道路環境整備の促進
- | 子供に対する交通安全教育の充実
- | 高齢者の運転免許自主返納などに関する対策（返納者に対する助成、限定運転免許制度の導入など）
- | 免許返納しやすい環境づくりとして、高齢者の移動手段の確保と生活支援の充実（中山間地域における移動手段の確保、公共交通の活用の推進）
- | 高齢者への交通安全教育の充実（認知機能検査や視野検査、実技試験の導入など）
- | 訪日外国人への交通安全対策（標識の多言語化や日本の交通ルール順守教育の徹底）
- | 歩行者への交通安全意識啓発として、反射材用品の普及
- | 歩きスマホにかかる交通事故防止対策
- | 自転車運転時に関する交通安全対策（自転車道や専用通行帯の整備、ヘルメット着用の普及、その他交通ルールの周知徹底）
- | 危険運転（あおり運転や飲酒運転）の厳罰化に向けた対策（道路交通法の改正やドライブレコーダーの設置義務化）
- | 生活道路の安全確保の推進（ゾーン30やそれに準じた交通規制の整備、横断歩道の整備）
- | 自動ブレーキ・アクセルブレーキ踏み間違い時急加速抑制装置等（後付け）安全装置装着の補助及び先進安全自動車（ASV）、サポカー・サポカーS等の安全自動車の普及促進（特に高齢者に対する普及促進や財政支援など）
- | 自動運転技術の向上、環境整備（道路環境、法整備など）
- | 事故データなどの共有・分析（ビッグデータのオープン化の促進、AIの導入による交通事故分析システムの確立、省庁横断的なデータの共有など）

(2) 市区町村

- | 保育園や幼稚園のお散歩コース、通学路を含めた子供達の交通事故防止のための道路環境整備の促進
- | 子供・学生・社会人等に対する交通安全教育の充実
- | 高齢者の運転免許自主返納などに関する対策（返納者に対する助成、限定運転免許制度の導

入など)

- Ⅰ 免許返納しやすい環境づくりとして、高齢者の移動手段の確保と生活支援の充実（山間部、過疎地域における新たな移動手段の確保、公共交通の活用の推進）
- Ⅰ 高齢者への交通安全教育の充実（講習場所の拡大、認知機能検査や視野検査、実技試験の導入、免許更新期間の見直しなど）
- Ⅰ 訪日外国人・外国人住民への交通安全対策（日本の交通ルール順守教育の徹底）
- Ⅰ 歩行者への交通安全意識啓発として、反射材用品の普及
- Ⅰ 歩きスマホ、ながら運転にかかる交通事故防止対策
- Ⅰ 自転車運転時に関する交通安全対策（損害賠償責任保険加入の義務化、自転車道や専用通行帯の整備、ヘルメット着用の普及、その他交通ルールの周知徹底）
- Ⅰ 危険運転（あおり運転や飲酒運転）の厳罰化に向けた対策（道路交通法の改正）
- Ⅰ 自動ブレーキ・アクセルブレーキ踏み間違い時急加速抑制装置等（後付け）安全装置装着の補助及び先進安全自動車（ASV）、サポカー・サポカーS等の安全自動車の普及促進（特に高齢者に対する普及促進や財政支援など）
- Ⅰ ドライブレコーダー設置の義務化
- Ⅰ 国道等の歩行空間の安全確保（防護柵や交差点の横断歩道の待機場所などの整備）
- Ⅰ 自動運転技術の向上、環境整備（道路環境、法整備など）
- Ⅰ 事故データなどの共有・分析（ビッグデータのオープン化の促進、AIの導入による交通事故分析システムの開発、省庁横断的なデータの共有など）

（3）関係団体

- Ⅰ 交通安全教育の推進（年齢を問わない交通安全教育指針に基づいた体系的な交通安全教育制度の創設など）
- Ⅰ 保育園や幼稚園のお散歩コース、通学路を含めた子供達の交通事故防止のための道路環境整備の促進
- Ⅰ 高齢者の運転免許自主返納などに関する対策
- Ⅰ 免許返納しやすい環境づくりとして、高齢者の移動手段の確保と生活支援の充実
- Ⅰ 高齢者への交通安全教育の充実（認知機能や身体機能の低下を踏まえた安全教育・指導など）
- Ⅰ 外国人居住者、旅行者への交通安全対策（標識の多言語化や日本の交通ルール順守教育の徹底）
- Ⅰ 歩行者への交通安全意識啓発として、反射材用品の普及
- Ⅰ 自転車運転時に関する交通安全対策（自転車の点検整備、損害賠償責任保険加入等の重要性の周知、自転車整備・保険加入の義務化、自転車道や専用通行帯の整備、交通ルールの周知徹底）
- Ⅰ 危険運転（あおり運転や飲酒運転）の厳罰化等，危険運転による交通事故防止対策の推進

- Ⅰ 自動ブレーキ・アクセルブレーキ踏み間違い時急加速抑制装置等（後付け）安全装置装着の補助及び先進安全自動車（ASV）、サポカー・サポカーS等の安全自動車の普及促進策の実施
- Ⅰ 自動運転技術の向上、環境整備
- Ⅰ 事故データなどの共有・分析（先進技術を搭載した車両が関与する交通事故データの共有など）

（４） 被害者団体

- Ⅰ 高齢者の運転免許自主返納などに関する対策（制度の充実、限定運転免許制度の導入など）
- Ⅰ 外国人居住者、旅行者への交通安全対策（東京オリンピックの訪日外国人に備えた交通安全対策など）
- Ⅰ 歩車分離信号の普及促進
- Ⅰ 自転車専用道路設置の推進や自転車保険導入の推進
- Ⅰ 交通安全教育の充実（いのちの大切さを学ぶ教室、学生や高齢者への交通安全教室・講習の開発）
- Ⅰ 交通安全白書などの交通安全に関する統計の改善（類似事故統計や交通死者数の条件の見直し）
- Ⅰ 生活道路（市街地や保育園周辺）でのゾーン 30 の普及・拡大、ハンプ等の設置の促進
- Ⅰ 全方位型ドライブレコーダーの全車種標準装備の推進・義務化
- Ⅰ ペダル踏み間違い時の加速抑制装置や衝突予防装置、非常停止装置などの装着義務化、道路ごとの制限速度に応じて自動で速度制御を行う技術の実用化、夜間の歩行者・自転車事故を防ぐために、「自動ハイビーム」装置の義務化など、全てのクルマを対象にした安全運転支援施策の促進
- Ⅰ 被害者遺族に対する支援制度の充実（保障制度の適したタイミングでの提供やその支援、交通安全計画に係る会議への被害者遺族の委員としての参加の推進など）
- Ⅰ 事故捜査方法の改善（例：捜査情報の早期開示や捜査手法の改善）
- Ⅰ ながら運転や飲酒運転の防止対策の強化（車載映像表示装置の運転時の映像視聴禁止の徹底や、アルコール検知機器の開発普及）
- Ⅰ 「交通死ゼロ」を呼び掛け、実現していくために、国による「慰霊祭」の開催
- Ⅰ 自動運転に関する環境整備（車両の安全機能の確保、道路のインフラ整備、関連法整備）

2.2 第 10 次計画の 8 つの柱別に見た主な意見

2.1 と同様に複数件の回答があった事項を中心に記載する。

（１） 道路交通環境の整備

- Ⅰ 保育園・幼稚園のお散歩コースや、通学路など、子どもが日常的に使用する経路における財政支援の措置を含めた交通安全対策

- ｜ 新たな交通システムの確立等、高齢者が安心して外出できる道路交通環境の整備
- ｜ 免許返納しやすい環境づくりとして、高齢者の移動手手段の確保と生活支援の充実
- ｜ 自転車の車道通行を原則とした通行環境整備の推進
- ｜ 高速道路における立入・逆走防止対策（検知・警告システム導入や路外逸脱を防ぐガードレールの設置など）の推進

（２）交通安全の確保

- ｜ 外国人居住者、旅行者への交通安全対策
- ｜ 子供・若年者・高齢者や歩行者への交通安全教育の推進
 - 交通安全意識啓発として、反射材用品の着用推奨
- ｜ 高齢運転者への交通安全教育（講習や実技試験の導入・義務付けなど）の充実
- ｜ 歩きスマホ、自転車のながら運転にかかる交通事故防止対策
- ｜ 自転車運転に関する交通安全教育の推進
 - 自転車のヘルメット着用の推進・義務化
 - 自転車の交通ルールとマナーの徹底
 - 交通安全教育における自転車の点検整備、損害賠償責任保険加入等の普及
- ｜ 「交通死ゼロ」を呼び掛け、実現していくために、国による「慰霊祭」の開催

（３）安全運転の確保

- ｜ 高齢者の運転免許自主返納の促進のための施策の推進
- ｜ 地方自治体を実施する高齢者を対象とした交通安全対策事業への財政措置

（４）車両の安全性の確保

- ｜ 自動ブレーキ・アクセルブレーキ踏み間違い時急加速抑制装置等（後付け）安全装置装着の補助及び先進安全自動車（ASV）、サポカー・サポカーS等の安全自動車の普及促進策の実施

（５）道路交通秩序の維持

- ｜ 自転車の交通マナー向上のため、法整備による自転車の取り締まり周知・強化
 - 登録免許制の導入・交通ルール順守教育の徹底・取締りの強化
- ｜ 危険運転（あおり運転や飲酒運転）の厳罰化等，危険運転による交通事故防止対策を期待する

（６）救助・救急活動の充実

- ｜ 専門性の高い救命救急センターの体制強化

(7) 被害者支援の充実と推進

- ┆ 被害者遺族に対する支援制度の充実

(8) 研究開発及び調査研究の充実

- ┆ 高齢者の身体特性および心理特性に応じた安全支援技術の開発や道路環境の整備に資する調査分析の推進
- ┆ 自動運転技術の向上、環境整備
 - 自動運転技術の加速化を図るため、関係する法律の整備
 - 自動運転を踏まえた交通インフラに関する交通安全対策技術確立対策として研究開発投資の継続的な充実
- ┆ 事故データなどの共有・分析
 - 省庁横断的なデータの共有
 - 先進運転支援システムや自動運転システムを装備した車両が関与する交通事故データの共有や分析情報の提供

2.3 施策の対象別かつ第10次計画の8つの柱別に見た主な意見

2.1、2.2と同様に複数件の回答があった事項を中心に記載した。また、(県)は都道府県、(市)は市町村、(関)は関係団体、(被)は被害者団体として整理している。

(1) 年齢層別(子供・高齢者)

共通	<p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 外国人居住者、旅行者への交通安全対策(県)(市)(関)(被) ┆ 運転者となることを前提とした交通安全教育の推進及びその充実を図るため、交通安全教育指針に基づいた体系的な交通安全教育制度の創設(幼児、小、中、高、若年期、壮年期、老年期)(関) ┆ 「交通死ゼロ」を呼び掛け、実現していくために、国による「慰霊祭」の開催(被) <p>【被害者支援の充実と推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 被害者遺族に対する支援制度の充実(県)(市)(被) <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会保障(健保、労災をどう使うかの説明など)、社会福祉(障害者手帳3種類(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳)をいつ取得してどう活用できるかの説明など)、賠償問題(どの時期で症状固定してどうやって次の人生に踏み出すために経済的地盤を固めるかの青写真の説明など)の説明のできる人材・団体の周知(被) ○ 国による公的相談所や民間関係団体に関する情報提供の強化や、交通事故被害者に対する被害者支援団体紹介システムの確立(関) ○ 交通安全計画に関係する連絡会議への被害者遺族の委員としての参加の推進(被)
子供 (0～5歳) (未就学児)	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 保育園や幼稚園の散歩経路など、未就学児が日常的に使用する経路における交通安全対策(県)(市)(関)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税制支援の措置を含めた対策の推進（県）（市）（関） ○ 道路交通整備の促進（県）（市） ○ 国道等における交差点の横断歩道の待機場所の安全確保（市） <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 未就学児への交通安全教育（イベントなど）の推進（市）（関） ┆ 地域ボランティア参加による防犯・見守り活動の効率化（被） <p>【車両の安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 未就学児の交通事故防止のため、安全運転サポート車の普及促進（県）（市）
<p>子供 （6～15歳）</p>	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 児童・生徒等，通学路を含めた子供達の交通事故防止のための道路環境整備の促進を期待する（県）（市）（関） ┆ 自転車空間の整備（県）（市） ┆ 子供の交通事故防止のため、国道等における交差点の横断歩道の待機場所の安全確保（市） <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 子供への交通安全教育の推進（県）（市）（関）（被） ○ 交通安全教育に係る教材の開発及び各学校へ配付（県）（市） ○ 参加・体験・実践型の交通安全教室の開催（県）（市） ○ 歩行時や自転車の交通安全教育、自転車の健康効果等を学ぶ機会の創出（関） ○ 命の大切さを学ぶ教室（被） <p>【安全運転の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 歩きスマホにかかる交通事故防止対策（県）（市） ┆ 自転車運転時に関する交通安全対策（県）（市）（関） ○ ヘルメット着用などの交通マナーや自転車の点検整備の周知（県）（市）（関） ○ 交通事故にあった場合の損害賠償責任保険等の制度の周知徹底（県）（市）（関） ┆ 子供の登下校時に係る指導員の配置 ┆ 通学時間帯の交通指導の取り締まりの強化（被） <p>【車両の安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 子供の交通事故防止のため、安全運転サポート車の普及促進（県）（市）
<p>若年者 （16～24歳）</p>	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 自転車空間の整備（県）（市） <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 交通事故にあった場合の損害賠償責任保険等の制度の周知徹底（県）（市）（関） ┆ 若年者への交通安全教育の推進（県）（市） ○ 参加・体験・実践型の交通安全教室の開催（県）（市） ○ 交通安全教育に係る教材の開発及び配付（県） <p>【安全運転の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 歩きスマホ、自動車のながら運転にかかる交通事故防止対策（県）（市） ┆ 自転車運転時に関する交通安全対策（県）（市）（関） ○ ヘルメット着用の呼び掛けにかかる広報活動（県）（市） ○ 自転車乗車中における若年者に対する規範意識向上（県） ○ 企業等が、自転車通勤を行う社員等に対し、十分な交通安全教養を行う（関）
<p>その他大人</p>	<p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> ┆ 歩きスマホ、自転車のながら運転にかかる交通事故防止対策（県）（市）

	<ul style="list-style-type: none"> 企業等が、自転車通勤を行う社員等に対し、十分な交通安全教養を行う(関)
高齢者	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が安心して外出できる道路交通環境の整備(市)(被) 新たな交通システムの確立等、山間部・過疎地域の高齢者の交通手段の確保に向けた対策支援(市) 路面表示のカラー化による安全対策の推進(関)(被) 免許返納しやすい環境づくりとして、高齢者の移動手段の確保と生活支援の充実(県)(市)(関)(被) <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者への交通安全教育の充実(県)(市)(関)(被) <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者講習の充実(県)(市)(関)(被) ○ 高齢運転者の実技試験の導入・義務付け(県)(市)(被) ○ 高齢者講習受講場所の拡大(市) <p>【安全運転の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方自治体を実施する高齢者を対象とした交通安全対策事業への財政措置(県) 高齢者の運転免許自主返納などに関する対策(県)(市)(関)(被) <ul style="list-style-type: none"> ○ 運転免許自主返納の促進のための施策の推進(県)(市)(関) ○ 運転免許自主返納者への支援対策に係る財政支援(県)(市) ○ 高齢者限定運転免許制度の導入(県)(市)(被) ○ 安全運転サポート車限定や地域限定等(市) 歩きスマホ、自動車のながら運転にかかる交通事故防止対策(県)(市) 高齢歩行者の交通事故防止対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢歩行者への交通安全ルールの普及(市) ○ 反射材の普及促進対策を期待する(県)(市)(関) <p>【車両の安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進技術による運転支援(県)(市)(関) <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全運転サポート車の普及促進、自動ブレーキなどの先進安全技術を備えた車「安全運転サポート車」の更なる普及啓発(県)(市)(関) ○ 後付けの踏み間違い防止装置等の購入・取り付けに係る費用に対する助成(県)(市) <p>【研究開発及び調査研究の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動運転技術や安全運転支援装置等、更なる先進技術の導入(県)(市)(関) 高齢者の身体特性および心理特性に応じた安全支援技術の開発や道路環境の整備に資する調査分析の推進(関)(被)

(2) 状態別

共通	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化整備の推進(県)(市) <p>【救助・救急活動の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門性の高い救命救急センターの体制強化(市)
歩行者	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の交通環境の整備(県) 交通安全施設の整備(県)(市)(関) <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者への交通安全意識啓発として、反射材用品の着用推奨(県)(市)

	<p>(関)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者となる人への交通安全教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 参加・体験・実践型の交通安全教室の開催(県) ○ 交通安全教育に係る教材の開発(県)(市)
自転車	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の車道通行を原則とした通行環境整備の推進(県)(市)(被) <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車運転に関する交通安全教育の推進(県)(市)(関) <ul style="list-style-type: none"> ○ 自転車乗車中における若年者に対する規範意識向上(県)(市) ○ 参加・体験・実践型の交通安全教室の開催(県) ○ 交通安全教育に係る教材の開発(県) ○ 自転車の交通ルールとマナーの徹底(信号無視、一時不停止、道路横断)(市) ○ 交通指導員等の育成(市) ○ 交通安全教育における自転車の点検整備、損害賠償責任保険加入等の普及(関) ○ 企業等による自転車通勤を行う社員等に対する、十分な交通安全教養の実施(関) 自転車のヘルメット着用の推進・義務化(県)(市) <p>【安全運転の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 損害賠償責任保険等の制度の義務化、周知徹底(県)(市)(関)(被) <p>【道路交通秩序の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車の交通マナー向上のため、法整備による自転車の取り締まり周知・強化(県)(市)(関) <ul style="list-style-type: none"> ○ 登録免許制の導入・交通ルール順守教育の徹底・取締りの強化(関) ○ 誰もが危険と理解している酒酔い運転や信号無視だけでなく、しばしば見かける「ながら運転」「遮断踏切立ち入り」「歩道での無謀運転」「一時不停止」等も危険行為として取締りを受け、その先に安全講習の受講などもあることの広報啓発(関)
二輪車	<p>【安全運転の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 二輪車に関する限定免許(安全運転サポート車限定、地域限定等)の制定(市)
自動車	<p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮想実体験型 VR を利用した交通安全対策啓発事業の推進、導入支援(市) <p>【車両の安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動ブレーキ・アクセルブレーキ踏み間違い時急加速抑制装置等(後付け)安全装置装着の補助及び先進安全自動車(ASV)、サポカー・サポカーS等の安全自動車の普及促進策の実施(県)(市)(関) 後付け安全運転支援装置の性能認定制度の創設(県) ドライブレコーダーの全車種標準装備の推進・義務付け(県)(市)(被) ドライブレコーダーや新システムにより運転士の労務管理を実施する際の補助金等の支給(関) 大型車の死角となる箇所へのカメラやセンサーの装備の推進(被) <p>【道路交通秩序の維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険運転(あおり運転や飲酒運転)の厳罰化等、危険運転による交通事故防止対策を期待する(県)(市)(関) <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲酒運転根絶対策(市)(被) ○ あおり運転に関する定義の確定や、関連する法整備(県)(市)(関) <p>【研究開発及び調査研究の充実】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転技術の向上、環境整備（県）（市）（関）（被） ○ 自動運転技術の加速化を図るため、関係する法律の整備（県） ○ 自動運転を踏まえた交通インフラに関する交通安全対策技術確立対策として研究開発投資の継続的な充実（関） 事故データなどの共有・分析（県）（市）（関）（被） ○ 事故発生箇所の事故原因と道路交通状況の分析及び安全対策方法の支援（市） ○ 省庁横断的なデータの共有（ETC2.0 データや、VICS と連携した路線ごとの交通流量データなど 1 市町単位では取得困難な交通事故対策に有用なデータの提供又はオープン化）（県）（市） ○ 交通事故分析センターや損害保険会社が所有する交通事故のビックデータの情報共有と事故原因解明及び安全対策手法の情報提供（市） ○ 先進運転支援システムや自動運転システムを装備した車両が関与する交通事故データの共有（関） ○ 人口動態統計による 1 年間の交通死による犠牲者数の導入（被） 赤色信号をセンサーが検知した場合に自動ブレーキが起動する装置の開発（県） AI を活用した事故制御システムの構築（関）
--	---

（3） 場所別

共通	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に強い交通安全施設の整備促進（県） 交通インフラ整備による道路環境の向上（県） 道路利用者に対し必要な道路交通情報を提供し、安全かつ円滑な道路交通を確保するため、交通管理者や道路管理者による感知器やカメラ等の道路交通情報インフラのより一層の充実（関） 交通事故対策として、全国的に見づらい標識や、消えかかった路面標示の改善・解消（関） 交通安全施設の老朽化対策として、標識、路面標示、防護策等の点検・診断の着実な実施及び点検結果等に基づく計画的な修繕・更新（関） 訪日外国人の交通安全を確保するため、高速道路のナンバリングや「止まれ」標識等における英語併記の整備促進（関）
生活道路	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化整備の推進（県）（市） 交差点の安全確保の推進（県）（関） ○ 信号機の設置の推進（県） ○ 歩車分離型信号の交差点への変更（関）（被） ゾーン 30 やゾーン 30 に準じた交通規制の整備の推進（県）（市）（被） 未就学児や小中学生が通行する道路の交通環境の整備（県）（市）（関） 自動運転が可能な道路環境の整備（市） 路面標示のカラー化やハンプなどによる安全対策（関）（被）
幹線道路	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無電柱化整備の推進（県）（市） 交差点の安全確保のため、信号機の設置の推進を期待する（県） 国道における防護柵の整備を希望する（市） 国道等における交差点の横断歩道の待機場所の安全確保（市） 自動運転が可能な道路環境の整備（市） 交通安全対策に精通する第三者から道路環境の改善提言を行う「道路安

	全監査」と呼ばれる手法の全国導入（関）
高速道路	<p>【道路交通環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 立入・逆走防止対策の推進（県）（関） ○ 立入・逆走防止に資する検知・警告システム導入予算の補助（関） ○ 高速道路での逆走対策や路外逸脱を防ぐガードレールの設置、道路インフラの整備など高齢運転者に優しい道路環境の整備（県） 先行的な災害時の法面等崩落危険予測箇所の改修（自専道等）（県） 高速道路のPA、SA、道の駅等への大型車用駐車スペースの拡充（関） <p>【交通安全思想の普及徹底】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路を利用する運転者への交通安全思想の普及徹底、安全運転の確保（関）

参考資料：調査票

第 11 次交通安全基本計画に盛り込むべき事項（調査票）

1. 貴団体（業界）の活動について

（ 1 ）貴団体（業界）の第 10 次計画期間中（2016 年度～2020 年度まで）の交通安全に関する主な取組について教えてください。

(2) 今後、2025 年度までに、貴団体（業界）が重視する交通安全に関する主な取組について教えてください。

2. 交通安全に関する課題及び対策について

今後、2025年度までに<国に期待する主な交通事故対策>について、貴団体（業界）にて<重要と認識されている主な課題>とともに、記載してください。

<重要と認識されている主な課題>

<国に期待する主な交通事故対策>

前頁<国に期待する主な交通事故対策>にご記入いただいた内容について、下記の「道路交通」、
「鉄道交通」、「踏切道における交通」、「海上交通」、「航空交通」の<安全に関する観点>の中に該
当する選択肢があれば、その番号を文末に記入して下さい(複数記述可)。該当する選択肢がない項
目は記入いただかなくて構いません。

(記載例)

- ・高齢運転者対策として〇〇を期待する。(道—5,6,23)
- ・駅における安全対策として 〇〇を期待する。(鉄—2,3)

道路交通安全の安全に関する観点 道

鉄道交通の安全に関する観点 鉄

踏切道における安全に関する観点 踏

海上交通の安全に関する観点 海

航空交通の安全に関する観点 航

＜道路交通の安全に関する観点＞		
施策の対象	施策の柱	最近の主な課題
1. 子供(0～5歳(未就学児))	14. 道路交通環境の整備	22. 未就学児の交通事故
2. 子供(6～15歳)	15. 交通安全思想の普及徹底	23. 高齢ドライバーが引き起こす交通事故
3. 若年者(16～24歳)	16. 安全運転の確保	24. ながら運転・歩行による交通事故
4. その他大人(25～64歳)	17. 車両の安全性の確保	25. あおり運転による交通事故
5. 高齢者(65～74歳)	18. 道路交通秩序の維持	26. 自動運転車の普及
6. 高齢者(75歳以上)	19. 救助・救急活動の充実	
7. 歩行者	20. 被害者支援の充実と推進	
8. 自動車	21. 研究開発及び調査研究の充実	
9. 二輪車		
10. 自転車		
11. 生活道路		
12. 幹線道路		
13. 高速道路		

< 鉄道交通の安全に関する観点 >		
対策を考える視点	施策の柱	最近の主な課題
1. 重大な列車事故の未然防止 2. 利用者等の関係する事故の防止	3. 鉄道交通環境の整備 4. 鉄道交通の安全に関する知識の普及 5. 鉄道の安全な運行の確保 6. 鉄道車両の安全性の確保 7. 救助・救急活動の充実 8. 被害者支援の推進 9. 鉄道事故等の原因究明と再発防止 10. 研究開発及び調査研究の充実	11. 人身障害事故の約半数を占める線路内立ち入り等による接触

< 踏切道における安全に関する観点 >		
対策を考える視点	施策の柱	最近の主な課題
1. それぞれの踏切の状況等を勘案した効果的対策の推進	2. 踏切道の立体交差化、構造の改良及び歩行者等立体横断施設の整備の促進 3. 踏切保安設備の整備及び交通規制の実施 4. 踏切道の統廃合の促進 5. その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置	6. 運転事故の約4割を占める踏切障害

< 海上交通の安全に関する観点 >		
対策を考える視点	施策の柱	最近の主な課題
1. ヒューマンエラーによる事故の防止 2. ふくそう海域における大規模海難の防止 3. 旅客船の事故の防止 4. 人命救助体制及び自己救命対策の強化	5. 海上交通環境の整備 6. 海上交通の安全に関する知識の普及 7. 船舶の安全な運航の確保 8. 船舶の安全性の確保 9. 小型船舶の安全対策の充実 10. 海上交通に関する法秩序の維持 11. 救助・救急活動の充実 12. 被害者支援の推進 13. 船舶事故等の原因究明と再発防止 14. 海上交通の安全対策に係る調査研究等の充実	15. 台風時の船舶の走錨による重要施設等への衝突事故に伴う施設の損壊

＜航空交通の安全に関する観点＞		
対策を考える視点	施策の柱	最近の主な課題
1. 航空安全対策の深化・高度化 2. 航空需要増への対応及び安全維持・向上の一体的推進 3. 新技術・産業発展に伴う安全行政の新たな展開	4. 航空安全プログラムの更なる推進 5. 航空機の安全な運航の確保 6. 航空機の安全性の確保 7. 航空交通環境の整備 8. 無人航空機の安全対策 9. 航空交通の安全に関する研究開発の推進 10. 航空事故等の原因究明と再発防止 11. 救助・救急活動の充実 12. 被害者支援の推進	13. 航空従事者等の飲酒問題

連絡先

貴 団 体 名	
部 署 名	
氏 名	
住 所	〒 -
T E L	
E - M A I L	